

令和7年度 私立学校専門研修会

イノベーション教育 (グローバル・ICT活用)研究部会 実施案内

生成AIが導入される私学教育の意義
～問う力と対話力を育むために～

生成AIを導入したグローバル教育・STEAM教育・探究学習を各私立学校が実践する中で、「なぜ学校に来るのか」という本質的な問いが生まれている。新たな価値を創造するためには、自ら問いを立てる「問う力」、他者と共創する「対話力」を育む必要がある。

本年度当部会では、教室という場で生徒と教職員が対話を重ねることの重要性を追究し、私学教育を「世界を考える教室」へと発展させることを目指す。そして、志を同じくする仲間とともに、学校を超えて教育の未来像を描く契機としたい。

令和7年

12月11日(木)

～12日(金)

AP東京八重洲
(東京都中央区)

募集人数 **50名**

参加対象 **理事長、校長、副校長・教頭、
グローバル・ICT・キャリア教育等担当及び一般の教員**
※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

参加費 **25,000円**

(1日目教育懇談会費、2日目昼食費を含む。宿泊費別。)

ノートパソコンまたはタブレット端末をご持参下さい。

講演・ワークショップ

「探究学習と哲学対話～問う力・考える力・語る力・聞く力」

梶谷 真司 東京大学大学院総合文化研究科教授

パネル・ディスカッション

パネリスト

林 真依 PwCコンサルティング合同会社シニアマネージャー

原田 賢幸 鹿児島県私立中学高等学校協会会長
学校法人原田学園理事長

本間 勇人 一般財団法人東京私立中学高等学校協会
東京私学教育研究所副所長

コーディネーター

高橋 一也 ELSA Japan合同会社上級事業開発部部長

プログラム

1日目：12月11日(木)

13:00～13:30	受付
13:30～14:00	開会式
14:00～17:00	パネル・ディスカッション
17:10～18:30	教育懇談会

2日目：12月12日(金)

10:00～11:30	講演
11:30～13:00	ワークショップ
13:00～14:00	昼食
14:00～15:40	研究協議
15:40～16:00	閉会式

※プログラムは変更になる場合があります。

○主催：一般財団法人日本私学教育研究所 ○後援：日本私立中学高等学校連合会

一般財団法人日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8市ヶ谷UNビル6階 電話 03(3222)1621 FAX 03(3222)1683

<https://www.shigaku.or.jp/>



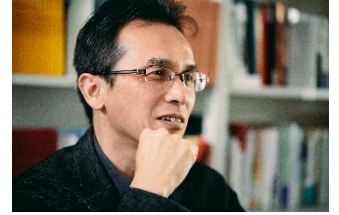
2025.10

◆講師プロフィール◆

講演・ワークショップ

梶谷 真司（東京大学大学院総合文化研究科教授）

東京大学大学院総合文化研究科教授。京都大学大学院人間・環境学研究科修了。専門は哲学、医療史、比較文化。近年は哲学対話を通して、学校や企業、地域コミュニティなどで「共に考える場」を作る活動を行い、いろんな人が共同で思考を作り上げていく「共創哲学」という新しいジャンルを追求している。近著に『考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門』（2018・幻冬舎）、『書くとはどういうことか 人生を変える文章教室』（2022・飛鳥新社）、『問うとはどういうことか 人間的に生きるための思考のレッスン』（2023・大和書房）、『哲学対話の冒険日記』（2023・あいり出版）がある。



パネル・ディスカッション

林 真依（PwC コンサルティング合同会社シニアマネージャー）＜パネリスト＞

人材サービス会社にて法人営業、官公庁事業企画、新規事業開発を担当後、2017年より現職。学び（主に初等中等教育）およびDE&I推進領域における、文部科学省や経済産業省等中央省庁や全国各自治体・教育委員会の事業企画・運営に多数携わる。PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 Education Initiative リーダー。ISO30414（人的資本に関する情報開示のガイドライン）リードコンサルタント／アセッサー。

原田 賢幸（鹿児島県私立中学高等学校協会会長／学校法人原田学園理事長）＜パネリスト＞

学校法人原田学園理事長、鹿児島県私立中学高等学校協会会長（2024年4月～）。1976年、鹿児島県生まれ。明治大学文学部卒。大学卒業後、2001年より日本ヒューレット・パッカー株式会社（現HPE）にて法人営業部に所属し、主に流通・サービス業向けの情報システム営業を担当。2005年、学校法人原田学園鹿児島情報高等学校の教員として勤務。2011年、同校の副校長に就任。2012年、学校法人原田学園経営企画室長に就き、2017年4月から現職。

本間 勇人（一般財団法人東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所副所長）＜パネリスト＞

一般財団法人東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所副所長、聖パウロ学園副理事長。
1957年北海道生まれ。中央大学法学部・同大学院を経て、日能研で授業・テスト・評価などカリキュラム開発。1999年からNTS教育研究所設立主宰。2000年から2007年までHonda「発見・体験学習」のプログラム開発。2008年～2020年本間教育研究所代表。2011年以降「21世紀型教育機構」理事、「PBL・思考力テスト・評価」の開発。2017年～2020年開智国際大学客員教授。2021年～2022年聖パウロ学園高等学校校長。
著書『次元の違う、新評価軸～思考を可視化するフレームワーク【思考コード】開発秘話』（2025・SMCらぼ）山下一、本間勇人共著『名門中学の作り方』（2008・学研新書）、『創造的才能教育』共著[放送大学教授編]（1997・玉川大学出版）。

高橋 一也（ELSA Japan 合同会社上級事業開発部部長）＜コーディネーター＞

慶應義塾大学大学院、米・ジョージア大学大学院でインスタラクショナルデザインを研究（全米優等生協会選出）、蘭・ユトレヒト大学大学院で認知心理学を学ぶ。2014年より工学院大学附属中学高等学校の英語教諭として勤務し、2016年度より中学教頭を務める。2016年には日本人として初めてグローバル・ティーチャー賞の最終候補に選出される。全国の学校で授業力向上の支援に力を入れている。現在はELSA Japan 合同会社事業開発部部長として勤務しながら、東北大学大学院医学系研究科で脳科学を研究。テクノロジーと教育、脳科学に興味があり、新しい時代の「学び」について考えている。

講師・指導員（順不同）

梶谷 真司（東京大学大学院総合文化研究科教授）

林 真依（PwC コンサルティング合同会社シニアマネージャー）

原田 賢幸（鹿児島県私立中学高等学校協会会長
学校法人原田学園理事長）

本間 勇人（一般財団法人東京私立中学高等学校協会
東京私学教育研究所副所長）

高橋 一也（ELSA Japan 合同会社上級事業開発部部長）

吉田 晋（富士見丘中学高等学校理事長・校長）

平方 邦行（一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長）

専門委員・指導員（順不同）

平方 邦行（一般財団法人日本私学教育研究所理事・所長）

大羽 聡（千葉英和高等学校理事長・校長）

山中 幸平（学校法人山中学園学園長）

水谷 厚志（出雲北陵中学高等学校理事長・校長）

原田 賢幸（学校法人原田学園理事長）

川本 芳久（一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長）

【1日目】12月11日(木)

〈会場〉AP 東京八重洲 11 階「L+M」

13:00-13:30	◇受付◇
13:30-14:00	◇開会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 吉田 晋 一般財団法人日本私学教育研究所理事長 3. 研修会運営方針説明 平方 邦行 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 4. 役員・専門委員紹介 5. 日程説明 6. 閉式
14:00-17:00	◇パネル・ディスカッション◇ 司会・講師紹介 大羽 聡 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 テーマ 生成 AI が導入される私学教育の意義～問う力と対話力を育むために～ パネリスト 林 真依 PwC コンサルティング合同会社シニアマネージャー パネリスト 原田 賢幸 鹿児島県私立中学高等学校協会会長／学校法人原田学園理事長 パネリスト 本間 勇人 一般財団法人東京私立中学高等学校協会 東京私学教育研究所副所長 コーディネーター 高橋 一也 ELSA Japan 合同会社上級事業開発部部长
17:10-18:30	◇教育懇談会◇ 〈会場〉同 11 階「K」 司会 大羽 聡 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 1. 開会 2. 主催者代表挨拶 平方 邦行 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長 3. 講師紹介 4. 乾杯 山中 幸平 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 5. 閉式

【2日目】12月12日(金)

〈会場〉AP 東京八重洲 11 階「L+M」

10:00-11:30	◇講演◇ 司会・講師紹介 水谷 厚志 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 テーマ 探究学習と哲学対話～問う力・考える力・語る力・聞く力 講師 梶谷 真司 東京大学大学院総合文化研究科教授
11:30-13:00	◇ワークショップ◇ 司会 水谷 厚志 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 テーマ 探究学習と哲学対話～問う力・考える力・語る力・聞く力 講師 梶谷 真司 東京大学大学院総合文化研究科教授
13:00-14:00	◇昼食◇
14:00-15:40	◇研究協議◇ 司会 山中 幸平 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員 参加者同士で意見交換を行います。
15:40-16:00	◇閉会式◇ 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所理事・事務局長 1. 開式 2. 総括・閉会挨拶 平方 邦行 インベーション教育(グローバル・ICT活用)研究専門委員長

◆参加者へのお願い◆

当研修会での主催者記録係・取材メディア以外による録画・録音は禁止します。

講師・発表者等の許可無く研修会の写真・内容等のホームページ・ブログや各種 SNS 等へのアップロードは禁止します。

撮影した動画・写真は当研究所広報活動(刊行物・ホームページ掲載等)や取材メディアの新聞掲載等で使用する場合があります。

会場内の様子を撮影する関係上、参加者が写真や動画に映り込む可能性がありますので、予めご了承下さい。

◆会場案内◆ AP 東京八重洲

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル
TEL: 03-6228-8109

◎JR 東京駅八重洲中央口より徒歩 6 分



《アクセス》



《東京駅からの道順》



※宿泊について

宿泊の斡旋は行いませんので、必要な方は各自ご手配下さい。

東京駅周辺は宿泊費が上昇しておりますので、他地域での宿泊も併せてご検討下さい。東京駅には山手線、中央線、京浜東北線、東海道線、横須賀線、総武線、京葉線、武蔵野線、東京メトロ丸ノ内線が乗り入れています。

◆ 参加申込方法 ◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、以下の申込先に記載のメールアドレス宛に添付ファイル(PDF)または FAX でお送り下さい。

申込み先 一般財団法人日本私学教育研究所 研修会担当 宛

メール kenshukai@shigaku.or.jp (本申込書の PDF データを添付の上、お送り下さい。)

※メールでお申込みの際は、「件名」に「イノベーション申込」と記入して下さい。

※参加申込書は研究所ホームページ(<https://www.shigaku.or.jp/>)からダウンロードできます。

FAX 03-3222-1683

2. 申込は先着順に受付けます。募集人数を超えた場合は期日前でも締切となる場合があります。
申込を締切った場合は当研究所ホームページでお知らせします。

申込締切日 12月1日(月) 必着

3. 申込受付後、「参加確認証」「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」を所属校(法人)宛てに郵送します。
参加費は「参加費等請求書(コンビニ払込用紙)」で、指定されたコンビニエンスストアで以下の振込期限までにお振込下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきますので、大切に保管して下さい。
研修会当日受付に「参加確認証」をご提示下さい。

参加費振込・キャンセル期限 12月3日(水)

4. 申込後 2 週間以内に「参加確認証」等が届かない場合は電話でご連絡下さい。(TEL 03-3222-1621)

◆ 変更・キャンセルについて ◆

必ずメールまたは FAX で日本私学教育研究所へご連絡下さい。

①変更の場合は、「参加確認証(再発行)」を郵送します。

②キャンセルの場合は、「キャンセル確認書」をメールまたは FAX にて返信します。

※メールでのキャンセル連絡の際は、「件名」に「イノベーションキャンセル」と記載して下さい。

12月3日(水)迄のご連絡	12月4日(木)以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金します。	参加費の返金はありません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として参加費全額を申し受けます。天変地異や自然災害等によるキャンセルの場合は、状況により対応しますのでご相談下さい。

◆ 個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、参加される先生方の個人情報は、厳重に管理・保護の上、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払います。参加申込書にご記入いただく個人情報は、参加確認証および研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿の作成、当研究所の各種研修会開催等の情報の送付、また何らかの理由で研修会に参加される先生方に連絡する必要がある場合のみに利用します。

◆ 傷害保険について ◆

当研修期間中の参加者等の傷害保険には加入しませんのでご承知置き下さい。

申込書 送付先	メール kenshukai@shigaku.or.jp (本申込書のPDFデータを添付の上、お送り下さい。) FAX 03-3222-1683
------------	---

※メールでお申込みの際は、「件名」に「イノベーション申込」と記入して下さい。
※FAXにてお申込みの際は、送信前にFAX番号をご確認下さい。0(ゼロ)発信
のFAX機で送信する場合は「0」を押してから、FAX番号を押して下さい。

令和7年度 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
イノベーション教育(グローバル・ICT活用)研究部会
参加申込書

令和7年__月__日

参加者氏名	(ふりがな)	職名
学校(法人)名		担当教科
学校住所	〒	校務分掌
	TEL () FAX ()	
☆参加者本人以外または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。		
緊急連絡先 (携帯電話番号)		
☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号をご記入下さい。		
メールアドレス		

事前アンケート	
◎ 講師への質問がございましたらご記入下さい。(時間の都合上お答えできない場合もございますのでご了承下さい。)	
通信欄	
当日はノートパソコンまたはタブレット端末を必ずご持参下さい。 会場では各机に電源タップをご用意します。Wi-Fi もご利用いただけます。	

※ メールまたはFAXでお申し込み下さい。 ※ 複数名の参加の場合は、本参加申込書をコピーしてご記入下さい。	受付No. (研究所使用)
---	------------------